

大人のための情報モラル通信

ネット友達への悩みの相談について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

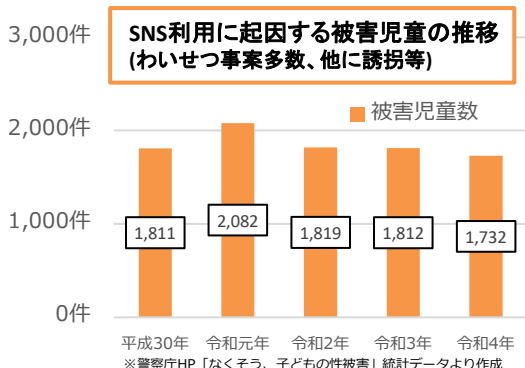
身近な人には言えないけれど、顔も名前も知らない**ネット友達**なら自分の恥ずかしい悩みを話しても平気…。このような感覚を持つ子どもは少なくないかも知れません。

例年、長期休暇の終わりになると**子ども達の自殺が増加傾向**になります。SNSでは悩み等を気軽に相談できるからこそ、そこに潜む**悪意**にも注意する必要があります。



子ども達の中には、一時的な感情で「死にたい」といったSNS投稿を行うケースがあります。ネットに潜む**「悪意」**はそのような投稿を見つけると**「行動」**に移ります。

令和4年にはそのような**悪意**のある人物が、「死にたい」とSNS投稿を行った関東地方の中学生を山奥のダムに連れて行き、**自殺を幫助した事件**が発生しています。



★救いになることも多いネット友達ですが…★

ただ、今の子ども達にはネット友達との交流が心の支えになることも少なくありません。そんな中で**ネット友達**を禁止しても、子どもは保護者に隠れて付き合うかも知れません。

もちろん、年齢によっては「SNS等を完全に管理する・禁止する」といった対応が求められます。特に**13歳未満の子ども**については、ほとんどの**SNSで利用登録が禁止**されています。

また、ネット友達と交流する場合、緊張感を持って付き合わせる為にも、その交流が保護者の管理下にあることを子どもに**意識させる**ことが重要です。例えば、スマホの利用は「保護者の所有機器を**貸して使わせる**」といった“形態”にする等です。



これは「子どものSNS利用を邪魔する」のではなく、**「子どもの安全を守る」**為の話です。子どもの安全を守ることは、どの動物でも最優先事項です。**「SNS内の他人」**に子どもが惑わされないよう、家庭でのリアルな交流を深めて子どもの安全を守りましょう。